

平尾魯仙の落款について

對馬恵美子¹⁾

Report on sign and seal by Hirao Rosen

Emiko TSUSHIMA

Key Words : 平尾魯仙、落款、日本画家、国学者、青森県、弘前

はじめに

成田彦栄氏が収集したコレクションは考古、歴史、美術、民俗等の各分野を包括するコレクションで形成されており、その主なるものは、考古分野は平成 21 年に弘前大学人文学部付属亀ヶ岡研究センターへ、歴史、美術等は平成 23 年に青森県立郷土館へ寄贈された。当館では寄贈資料の整理、調査を終えた昨年（平成 24 年）10 月に弘前大学人文学部の協力を仰ぎ、成田コレクションの代表的な資料を展示する企画展「寄贈記念成田彦栄コレクション」を開催し、好評を得たばかりである。

当コレクションは、日本画家であった佐藤蓐の収集したコレクションを包括していることから、蓐が描いた考古、植物画を中心とする資料の他に、蓐の師である平尾魯仙、あるいは魯仙の弟子などの津軽出身の美術作家の作品が多く含まれている。特に幕末から明治にかけて津軽の日本画壇を牽引した魯仙の作品、約 300 点が、確認できたのは、魯仙研究家にとっては、朗報と言えるであろう。魯仙については、近年研究が進んでいるところであるが、魯仙の落款に関しては、まだまとまった報告がなされていないのが現状であることから、この稿では当館所蔵の成田コレクションに含まれる魯仙作品の落款について調査した結果を報告するものである。

平尾魯仙と落款について

魯仙は文化 5（1808）年に現在の弘前市に生まれた。生涯、故郷を離れることなく明治 13 年に死去している。幕末から明治にかけての激動の時代を、絵師、国学者、歌人として幅広い活動を行った。

ちなみに、魯仙の名については、郷土文化研究倶楽部同人編『津軽書画家傳』（昭和 13 年頃か？）によれば「平尾魯仙 名ハ亮致八三郎と称ス宏齋ト号ス 俳句を学ビ蘆川ト号ス」とあり、中村良之進『平尾魯仙翁』によれば「平尾魯仙翁名は亮致通称初三郎と云う魯仙は其の雅号にして一に宏齋と称し又俳句には蘆川芦川の号を用う」とあり、これらをまとめると、名は亮致八（初）三郎、号は宏齋、魯仙、俳句の号は蘆川、芦川としていたことになる。

落款とは落成款識（らくせいかんし）の略で、書道や絵画などが完成した時、作者が署名・捺印することである。ちなみに、書画作品に押す印の種類は、一般に作品の右肩に作品の始まりを示す印を「引首印」または「関防印」、作品の書名の下に押す「落款印」、または「姓名印」、「雅号印」、作品の境界を示す押脚印（遊印）がある。また、印は押印した時の文字が白いものを白文、朱の色のものを朱文と区別している。

魯仙が日本画について著した『画訣』という書物には、「画落成て姓名をしるし、印を打を落款と云。」など”落款”と”印”について著している稿があるので、その箇所を<参考資料>として後ろに掲載した。

調査対象の作品について

当館に寄贈された成田コレクションの収蔵資料は、全部で 3587 点あり、2196 の受入番号がつけられている。その中で、魯仙の落款について調査した作品は以下の 309 点の作品である。

(1) 受入番号 2196-2-1 ～ 603 603 点中、魯仙作品は計 35 点

(1)の作品は（計 603 点）は蓐が描いたとされる植物画である。今回の調査の結果、この中に描き方、紙質、サイズなど蓐の描いた植物画と異なるものが含まれていた。それらの作品に「ニガウリ」の成長過程を描いた作品 7 点の中の 1 点に、「平尾魯仙」の署名（押印なし）が付されていた（図 1 参照）。さらに、他の作品についても、弘前市立図書館所蔵の魯仙の植物画譜や平尾魯仙の子孫にあたる三戸氏が所蔵する魯仙作品に、同一の作品を確認できた。蓐や魯仙らがいた時代の日本画家は、同一の作品を複数枚描くことは良くあることから、蓐の植物画に含まれていた（蓐が自身の勉学の為に魯仙から借用していたものが、そのまま残されていたとも考えられる）のは魯仙作品と推定できる。魯仙の植物画は 2196-2-472 ～ 574 のボタン（あるいはシャクヤク）23 点、2196-541 ～ 547 のニガウリ 7 点、2196-2-583 のノカンゾー 1 点、2196-2-579 ～ 582 ヤブカンゾーの 4 点、2196-2-432 ワサビの 1 点の計 36 点である。



図 1 受入番号 2196-2-547 「ニガウリ」

1) 青森県立郷土館 副課長（〒030-0802 青森市本町二丁目 8-14）

(2)受入番号 2196-2-604 ~ 653 50 点中、魯仙作品は 1 点

これらは蒔が収集したと考えられる蒔と同時代の師匠格あるいは同僚の日本画家たちの画である。これらの作品は紙の寸法が、縦横ほぼ一定で、裏打ち（紙の裏にさらに和紙や布などを貼って厚く丈夫にすること）がされ、中央縦に折り目がついていることから、画帖にする予定であったのかもしれない。この中に一点魯仙の「鶏図」の作品（図 2 参照）がある。

(3)受入番号 2196-2-654 ~ 756 169 点中、魯仙の書は 2 点

これらの作品は(2)と同様の体裁で、(2)が画であるのに対し、(3)は、画家や文人達の書が集められている。その中に魯仙の署名がある書が 2 点あった（図 3 参照）。

(4)受入番号 2196-2-756 ~ 925 計 169 点中、落款があるものは 37 点

これらの作品はひもで括られていたひとまとまりのもので、その作品を包んでいた紙には「先生ノ粉本」「買タルモノ」（図 4 参照）とあり、佐藤蒔が購入した魯仙の粉本（写し取った図のこと）ではないかと推察でききるもので、全て裏打ちがなく、捲り（表装しないでおいてある書画）の状態である。このうち落款があるものは全部で 37 点あった。その中には、落款、画風から明らかに魯仙の手によるものではない 219-2-808 などの作品も確認できた。37 点中、サインのみは 6 点、サインと印がそろっているのは 2 点、落款のみは 36 点、印の種類は 12 種類であった。印については<資料 3>を参照されたい。

(5)2196-3 計 40 点中、落款のあるものは 3 点

(4)と同様に裏打ちがされていない状態。落款のあるものは 3 点。

(6)2196-9-154-1 ~ 19 計 19 点中、落款があるものは 4 点

裏打ちがされていない。このうち落款のあるものは 4 点。このうち 2196-9-1-154「鍾馗図」は佐藤蒔の手になる画であり、魯仙の作品の写しと考えられる。

(7)2196-9-155-1 ~ 20 計 20 点中、落款のあるものは 13 点

裏打ちなし落款のあるものは 13 点。

(8)2196-9-156-1 ~ 15 計 15 点中、落款のあるもの 1 点

(8)は恵比寿、大黒神が描かれた作品が集められている。裏打ちはされていない。落款があるものは 1 点であった。

(9)2196-9-165 ~ 171 和綴じ本 計 8 冊、すべて巻末に落款有り。

以上の(1)から(9)までの魯仙作品合計 309 点の中から、落款（署名か印のどちらかひとつだけのものも含む）のある作品 70 点を抜き出して表にしたのが<資料 1>である。



図 2 受入番号 2196-2-607「鶏図」

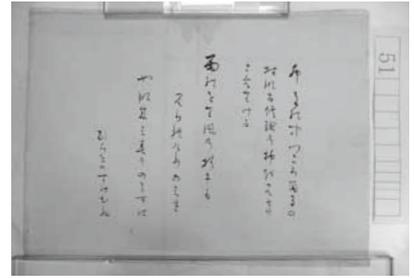


図 3 受入番号 2196-2-704 魯仙の書



図 4 2196-2-757 ~ 952 の包み紙

まとめ

・署名について

署名あるいは署名と印の両方ともある部分を、受入番号順にならべたものが資料 2 で 37 点の署名が確認できた。署名は全て縦書きで、2196-2-704 がひらがなで書かれている以外はすべて漢字で署名されている。漢字の署名は冊子本は全て楷書体で書かれ、及び 2-547,3-290,9-155-18 の 3 点以外はすべて草書体であった。

調査の中で「蘆川斎蔵」という署名が最も多く 12 点あった。以下、「蘆川斎製」が 8 点、「蘆川製」「平尾蘆川蔵」が各 3 点、他は「平尾魯仙」「魯仙」「ひらをのすけむね」「魯仙写」「平尾堅一郎亮致製之」「堅一蘆川蔵」「平魯仙亮致蔵」「平尾堅一郎亮致文庫」「平尾魯仙文庫」「魯仙蔵」が各 1 点ずつあった。

今回の調査で特徴的であったのは、名の下に「製」「蔵」「写」などの文字を書き込んでいるのが多いことであろう。「製」については「蘆川斎製」が 8 点、



図 5 受入番号 2196-2-761

「蘆川製」3 点、「平尾堅一郎亮致製之」1 点の計 12 点ある。例をあげると受入番号 2196-2-761（図参照 9 の場

合、作品に「安政四丁巳閏五月十九日、応黒石盛氏需、蘆川製」の書き込みがあり、安政4（1857）年5月19日に黒石の盛という人物に依頼されて描いた画であることがわかる。他の「製」がつく作品をみても、書き込みには必ず、依頼されて描いたという「応」「需」の二文字が確認できた（資料1参照）。この他に1点、「魯仙写」にも「応」「需」の二文字が確認できる。

このことから、魯仙は一般の人々（商人などの富裕層に限られるが）の注文に応じて、画を制作していたと推測され、その場合自分の署名の下に「製」、あるいは「写」の字をつけて区別していたと思われる。魚商の長男として生まれた魯仙は家督を弟に譲り、職業画家として独立しているのであるが、このように注文に応じて画を描くことにより、その生計を支えていたのかもしれない。

12点と最も多かった「蔵」については、このうちの7点が冊子本の最後にある署名の下に書かれている。他の捲りの作品については、例として2196-9-154-9の作品中「画師なり 董奉」の文字あり、作家と思われる名前が書かれていることから、魯仙が著名な作家の作品を模写し、制作時の参考とした作品、いわゆる粉本（模写したもの）といわれる類であり、自分の所蔵をしめす「蔵」の字を名の下につけたのではないと思われる。

魯仙の名については、主なる資料を参考にし先に述べたが、その中に含まれていない「堅一郎」という名も今回3点の作品に使用していたのがわかった。署名の下に押されている印については資料4のB「亮致の印」が20点と最も多く、O「魯」「仙」の印は1点であった。冊子本は巻末にBの印の他にひょうたんの形のR「魯仙」の印がセットで押されている。



図6 受入番号2196-9-154-9

・印について

印は表4のようにA～Wまでの23種類の印があり、最も多く使用されている。A（判読不明）、C「齋藤常吉」Dのひょうたんの形（判読不明）G「齋藤」H（よみか他不明）Kのひょうたん形は1点を省きすべて裏側から押印されており、ただし画は魯仙の画風に似ていると思われることから、あるいはこれらの作品の所蔵者の印である可能性もあるが、現段階では決めてが不足の為に断定はできない。明らかに魯仙の印と思われるのは、B、O、P、Q、R、S、T、U、V、Wの10種類の印である。文字の解読ができない不明の印については、今後の調査を待ちたい。

おわりに

今回の調査は、先に述べたように当館の成田彦栄コレクション寄贈資料に限った調査、つまり屏風や軸物などの大型の作品が含まれておらず、魯仙作品の全体を網羅していないことから、非常に偏りのある調査結果となってしまうことは否定できない。よって、今後の魯仙の落款に関する調査の継続が求められる。その際、礎石として、この調査結果を活用してもらえたら幸いである。

最後に、今回の調査でご協力をいただいた成田恵子氏、成田容子氏、三戸建治氏、本田伸氏、大科操氏に深く感謝いたします。

参考文献

本田伸（2011）『青森県立郷土館研究紀要第36号 平尾魯仙「画訣」と魯仙の作画態度』 青森県立郷土館郷土文化研究倶楽部同人編 『津軽書画家傳』
中村良之進『平尾魯仙翁』

<参考資料>

本田伸（2011）『青森県立郷土館研究紀要第36号 平尾魯仙「画訣」と魯仙の作画態度』より引用

落款

画落成て姓名をしるし、印を打を落款と云。王侯貴人に呈するにハ、号或ハ字等を記すハ失敬なり。姓名を書へし。尤号の下に名を書けは許すこともあり。印を用ゆるにハ、天子ハ正中の上位に印す也。他ハ位階によりて中段に印し、

下段に印するなり。狩野家にはミな下段に印す。

党

いかにも謹厳なるならばしなり。吾堂の如き

ハ上頭に印すれ共、孟浪にあるにあらず、所以
あることなり。

印

印材ハ、天子ハ玉印・金印、諸侯ハ銀印・銅印、庶人ハ石印・象牙印・竹根印・牛筋印・牛筋印・鑄印等、
其余数種あり。鈕にハ鳥獸・人物・連環等さまざまあり。関防を引首印とも条記ともいふ。俗に
かたの印といふ。一材一面に二ツほりたる印を連印と云。俗に下駄印といふ。小判なりなる印を
腰子形と云。四角なる印を直記といふ。小さき印を呂什とも戳児とも云也。其外印あり。両面
印あり。六面印あり。さて、扇面、あるひハ金箔地、或ハ絹地等に印を打に、印肉乾きかたきも
の也。其にハ、印を打たる上に珊瑚末をふりかくれハ、肉の油を珊瑚に吸納て、肉色もひとときハ
うるはしきなり。

〈資料1〉

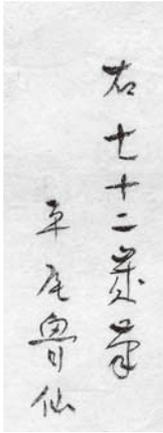
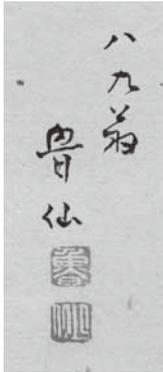
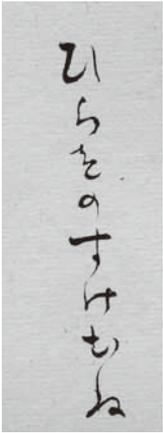
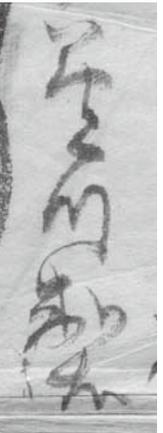
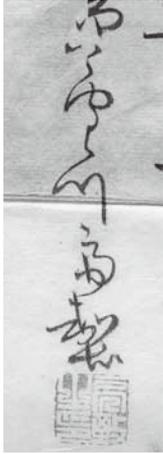
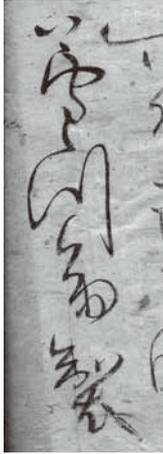
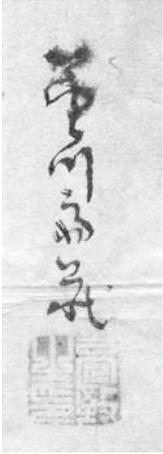
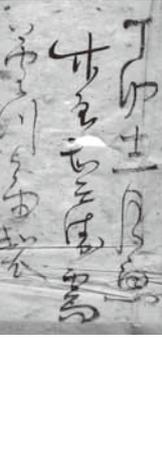
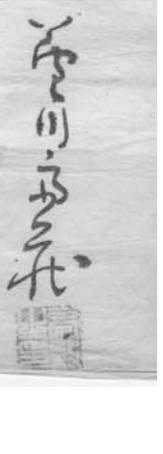
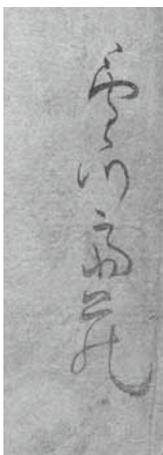
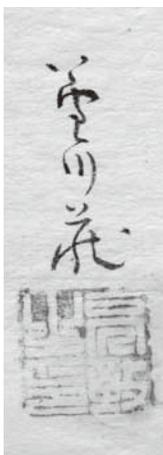
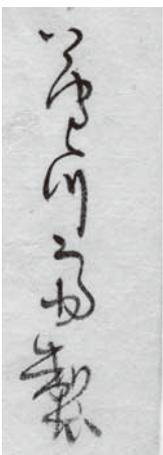
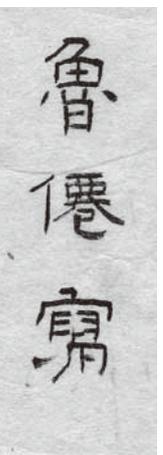
| 受入番号 | 資料名 | 制作年 | 西暦 | 寸法 | 備考(署名以外に作品中に書かれている文字など) | 印 | 印の種類 | 署名 |
|------------|------------|------|------|------------|---|---|------|----------|
| 2196-2-547 | 植物画(ニガウリ) | | | 24.8×34.0 | | | | 平尾魯仙 |
| 2196-2-607 | 鶏図 | 明治12 | 1879 | 27.2×36.6 | 「八九翁 魯仙」とあり 72歳の時の作か | □ | O | 魯仙 |
| 2196-2-704 | 平尾魯僊 書 | | | 25.8×36.0 | 「卯●の中つころ留るの村なる修験の柳を見てよめりける」「雨のをり 風の折にも 見られけり あはれやな木は 春にのみかは」「ひらをのすけむね」 | | | ひらをのすけむね |
| 2196-2-705 | 平尾魯僊 書 | | | 27.0×36.2 | 「子を持って親の恩を知るといふことを」「手にかけて西側おりぬ 作り菊」「譏者人を毀ふといふことを」「計持て 憎しみつある 蜂の口」「右二筆 亮斎蘆川 | □ | B・W | 宏斎蘆川筆 |
| 2196-2-757 | 師父童子図 | | | 83.2×39.0 | 筆 | □ | A | |
| 2196-2-760 | 草岩図 | 文政8 | 1825 | 25.8×28.2 | 「人物山水」とあり | □ | A | |
| 2196-2-761 | 布袋戯童図 | 安政4 | 1857 | 64.4×47.4 | 「安政四丁巳閏五月十九日、応黒石盛氏需、蘆川製」 | | | 蘆川製 |
| 2196-2-762 | 張果郎図 | | | 64.0×36.0 | 「張果郎」「右二」 | □ | A | |
| 2196-2-763 | 潜翁図 | | | 63.2×36.2 | 「潜翁」 | □ | A | |
| 2196-2-764 | 韓相之図 | | | 64.0×36.0 | 「韓相之」「右五」 | □ | A | |
| 2196-2-767 | 二人物図 | | | 144.0×33.8 | | □ | A | |
| 2196-2-768 | 鶏図 | | | 79.0×49.4 | | □ | A | |
| 2196-2-769 | 虎図 | 嘉永4 | 1851 | 122.0×77.0 | 「嘉永四年辛亥十月廿日、応水木氏需」 | □ | B×U | 蘆川斎製 |
| 2196-2-771 | 鷹図 | 明治元 | 1867 | 99.2×78.0 | 「丁卯十二月、応竹屋甚兵衛需、蘆川斎製」 丁卯は明治元(1867)年 | | | 蘆川斎製 |
| 2196-2-775 | 鶴図 | | | 74.0×28.4 | | ■ | C | |
| 2196-2-782 | 虎図 | | | 54.4×35.0 | 「花開翁客初」 | □ | B×2 | 蘆川斎蔵 |
| 2196-2-783 | 鷹図(平尾魯仙画) | 明治元 | 1867 | 100.0×65.6 | 「丁卯十二月、応竹屋甚兵衛需、蘆川斎製」 丁卯は明治元(1867)年 | | | 蘆川斎製 |
| 2196-2-800 | 鳥図 | | | 72.8×53.4 | | ■ | D | |
| 2196-2-805 | 草図(文鳳画) | | | 74.4×26.8 | 「文鳳」「蘆川斎蔵」 河村文鳳(1779-1821)の作品を魯仙が写したのか | □ | B | 蘆川斎蔵 |
| 2196-2-808 | 百合図(宣孝画) | 明治元 | 1867 | 56.8×41.2 | 「慶応歳丁卯六月廿六日」「山百合草之花写 宣孝」 印文「斎藤之印」 慶応歳丁卯は明治元年(1867)「花のくき ●●●也 木のくき 三尺拾四●御座候」 | ■ | E | |
| 2196-2-824 | 二鯉図 | | | 55.0×37.0 | | □ | D | |
| 2196-2-833 | 花図(梅) | | | 27.2×39.4 | | □ | F | |
| 2196-2-834 | 花図(梅) | | | 51.4×128.0 | | ■ | G | |
| 2196-2-837 | 花図(梅) | | | 51.6×109.0 | | ■ | G | |
| 2196-2-839 | 花図(梅) | | | 51.6×108.8 | | ■ | G | |
| 2196-2-848 | 鯉図(応受画) | | | 26.4×48.8 | 「応受」「蘆川斎蔵」とあり 円山応受(1777-1815)作品を平尾魯仙が写したのか | | | 蘆川斎蔵 |
| 2196-2-850 | 魚図 | | | 36.8×81.6 | | □ | D | |
| 2196-2-855 | 山水図 | | | 28.0×59.2 | 区画線を引く 箱の絵の下書か | □ | H | |
| 2196-2-857 | 波濤図 | | | 80.6×36.4 | | ■ | I | |
| 2196-2-861 | 阿房宮図 | | | 71.8×32.6 | 「阿房宮」とあり | □ | A | |
| 2196-2-862 | 花鳥図 | | | 79.6×78.4 | | □ | C | |
| 2196-2-865 | 群鶴図 | | | 109.4×39.6 | | ■ | N | |
| 2196-2-866 | 山水図(費晴湖画) | | | 57.0×39.0 | 上部に「余家在浙江湖州 有旦暮觀西湖勝」「費晴湖」 下部に「十五」 費晴湖の作品の写しか *費晴湖は清朝の南画家 | □ | A、M | |
| 2196-2-870 | 舟浦図 | | | 19.2×25.0 | | □ | J | |
| 2196-2-893 | 人物図(寿老人と亀) | | | 39.5×27.0 | 「雲峯之画写」 大岡雲峰(1765-1848)の作品の写か | □ | F | |
| 2196-2-901 | 人物図 | | | 39.0×54.2 | | □ | B | 蘆川蔵 |
| 2196-2-911 | 人物図(僧侶) | | | 55.0×39.8 | | ■ | K | |
| 2196-2-914 | 人物図(物売り) | | | 36.4×49.0 | | ■ | K | |

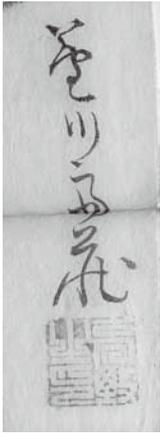
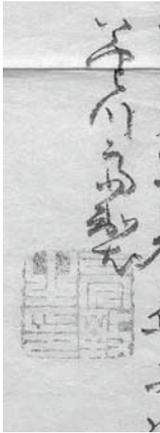
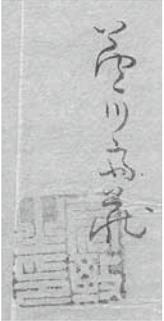
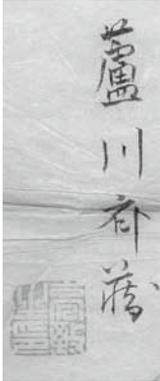
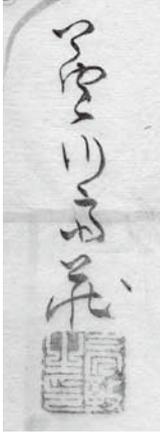
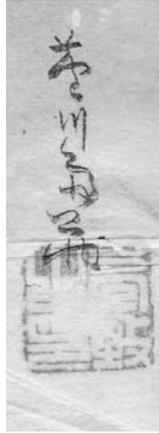
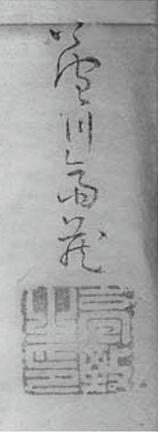
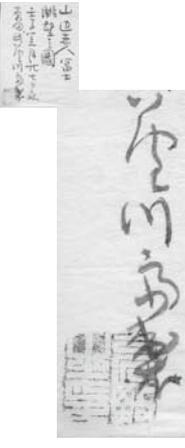
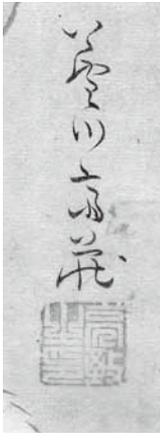
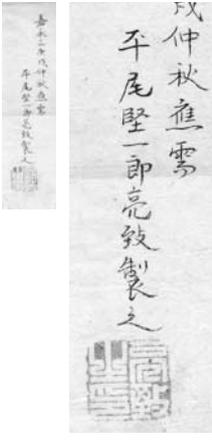
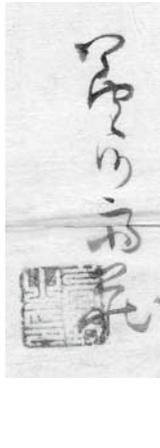
平尾魯仙の落款について

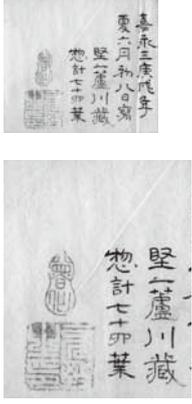
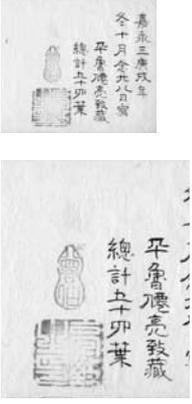
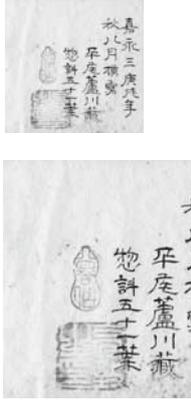
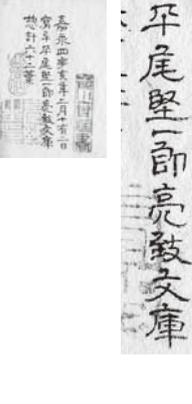
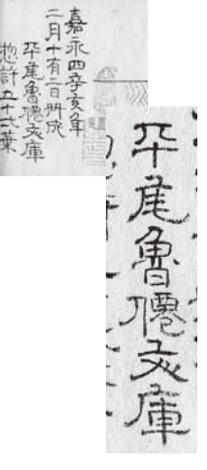
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|---|---|---|-----|---|-----|--|------------|-----|------|------------|--|---|-----|----------|-----|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 2196 | - | 2 | - | 918 | | | | 人物図(筆を執る人) | | | 48.2×60.0 | | □ | A | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2196 | - | 2 | - | 922 | | | | 人物図(釣り人) | | | 55.8×40.0 | | □ | A | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2196 | - | 3 | - | 256 | | | | 草香寺 姉之和尚 | 弘化4 | 1847 | 48.0×33.8 | | | | 蘆川斎製 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2196 | - | 3 | - | 260 | | | | 僧像図 | 嘉永3 | 1850 | 41.2×40.0 | | □ | | 蘆川斎製 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2196 | - | 3 | - | 290 | | | | 形屋友吉像 | 弘化3 | 1847 | 32.4×24.0 | | | | 魯僊写 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2196 | - | 9 | - | 154 | - | 4 | | 文章司命之図 | | | 96.5×38.6 | | □ | B×3 | 蘆川斎蔵 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2196 | - | 9 | - | 154 | - | 8 | | 人物図 | | | 86.5×30.4 | | ■ | U,V | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2196 | - | 9 | - | 154 | - | 9 | | 人物図 | | | 82.3×40.9 | | □ | B×2 | 蘆川斎蔵 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2196 | - | 9 | - | 154 | - | 10 | | 人物図(女性) | | | 81.6×38.6 | | ■ | U,V | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2196 | - | 9 | - | 154 | - | 12 | | 鷹図 | | | 39.5×27.5 | | □ | B | 蘆川斎製 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2196 | - | 9 | - | 155 | - | 1 | | 人物図 | 嘉永3 | 1850 | 66.8×40.7 | | □ | B×2 | 蘆川斎製 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2196 | - | 9 | - | 155 | - | 3 | | 草岩図 | | | 94.4×38.3 | | □ | B | 蘆川斎蔵 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2196 | - | 9 | - | 155 | - | 5 | | 人物図 | | | 61.3×39.0 | | □ | B×2 | 蘆川斎蔵 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2196 | - | 9 | - | 155 | - | 6 | | 山水図 | | | 126.3×80.2 | | □ | B×2 | 蘆川斎蔵 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2196 | - | 9 | - | 155 | - | 8 | | 人物図 | | | 126.0×70.7 | | □ | B×2 | 蘆川斎蔵 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2196 | - | 9 | - | 155 | - | 10 | | 人物図 | | | 64.5×43.2 | | □ | | 蘆川斎蔵 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2196 | - | 9 | - | 155 | - | 11 | | 人物図 | | | 55.0×38.7 | | □ | B | 蘆川斎蔵 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2196 | - | 9 | - | 155 | - | 12 | | 人物図 | 嘉永5 | 1852 | 47.9×124.1 | | □ | B×2 | 蘆川斎製 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2196 | - | 9 | - | 155 | - | 13 | | 人物図 | 嘉永5 | 1852 | 39.0×71.4 | | □ | B×2 | 蘆川斎製 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2196 | - | 9 | - | 155 | - | 16 | | 人物図 | | | 81.2×38.5 | | □ | B | 蘆川斎製 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2196 | - | 9 | - | 155 | - | 18 | | 武田二十四将図 | 嘉永3 | 1850 | 122.1×87.3 | | □ | B×2 | 平尾堅一郎亮致蔵 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2196 | - | 9 | - | 155 | - | 19 | | 鯉図(応受) | | | 35.2×70.7 | | □ | B×2 | 蘆川斎蔵 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2196 | - | 9 | - | 155 | - | 20 | | 山水図 | | | 93.5×35.6 | | □ | B×2 | 蘆川斎蔵 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2196 | - | 9 | - | 156 | - | 7 | | 布袋図 | | | 34.5×26.7 | | □ | B×2 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2196 | - | 9 | - | 164 | - | 1 | | 甲冑図式(乾) | 嘉永3 | 1850 | 8.8×19.7 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | 49 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | 50 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | 79 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | 137 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2196 | - | 9 | - | 164 | - | 138 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2196 | - | 9 | - | 165 | - | 2 | | 甲冑図式(坤) | 嘉永3 | 1850 | 9.0×19.6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2196 | - | 9 | - | 166 | - | 1 | | 馬具図式 | 嘉永3 | 1850 | 8.9×19.7 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2196 | - | 9 | - | 166 | - | 101 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2196 | - | 9 | - | 167 | - | 1 | | 武器図式 | 嘉永4 | 1851 | 9.1×19.9 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2196 | - | 9 | - | 167 | - | 121 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2196 | - | 9 | - | 168 | - | 1 | | 弓箭図式 | 嘉永4 | 1851 | 8.9×19.8 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2196 | - | 9 | - | 168 | - | 101 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2196 | - | 9 | - | 169 | - | 1 | | 弓箭図式 | 嘉永4 | 1851 | 9.0×19.8 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2196 | - | 9 | - | 169 | - | 122 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2196 | - | 9 | - | 170 | - | 1 | | 刀剣図式 | 嘉永4 | 1851 | 8.8×19.7 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2196 | - | 9 | - | 170 | - | 77 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2196 | - | 9 | - | 171 | - | 1 | | 画帳 | 嘉永5 | 1852 | 9.4×22.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | 49 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | 101 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | 105 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | 137 | | | | | | | | | | | | | | | |

- * 寸法は作品の縦×横をcmであらわした
- * □は白文、■は朱文
- * 印の種類にある×の後の数字は押印の個数
- * 2196-9-164 から171の後の枝番号は冊子本の頁数を示す
- * 備考については本田伸氏の協力を得た

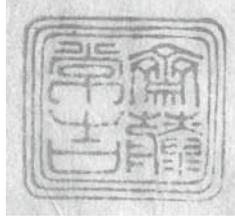
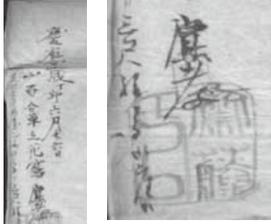
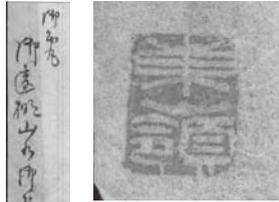
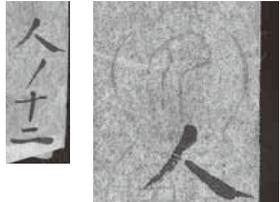
〈資料2〉

| | | | | | |
|------|---|---|---|---|---|
| |  |  |  |  |  |
| 受入番号 | 2196-2-547 | 2196-2-607 | 2196-2-704 | 2196-2-705 | 2196-2-761 |
| 署名 | 平尾魯仙 | 魯仙 | ひらをのすけむね | 宏齋蘆川筆 | 蘆川製 |
| 寸法 | 3.4×0.8 | 2.3×1.0 | 9.2×1.0 | 7.5×1.4 | 8.8×2.3 |
| 印の種類 | | O | | B | |
| |  |  |  |  |  |
| 受入番号 | 2196-2-769 | 2196-2-771 | 2196-2-782 | 2196-2-783 | 2196-2-805 |
| 署名 | 蘆川齋製 | 蘆川齋製 | 蘆川齋蔵 | 蘆川齋製 | 蘆川齋蔵 |
| 寸法 | 10.8×2.4 | 17.2×3.3 | 22.7×1.7 | 20.1×4.0 | 10.9×3.0 |
| 印の種類 | B | | B | | B |
| |  |  |  |  |  |
| 受入番号 | 2196-2-848 | 2196-2-901 | 2196-3-256 | 2196-3-260 | 2196-3-290 |
| 署名 | 蘆川齋蔵 | 蘆川蔵 | 蘆川齋製 | 蘆川齋製 | 魯仙写 |
| 寸法 | 6.5×1.5 | 4.2×1.5 | 8.0×1.3 | 3.3×1.2 | 3.4×0.8 |
| 印の種類 | | B | | B | |

| | | | | | |
|----------|---|---|---|--|---|
| |  |  |  |  |  |
| 受入番号 | 2196-9-154-4 | 2196-9-154-9 | 2196-9-154-12 | 2196-9-155-1 | 2196-9-155-3 |
| 署名 寸法 | 蘆川斎蔵 5.4×1.5 | 蘆川斎蔵 7.9×2.0 | 蘆川斎製 5.6×1.2 | 蘆川斎製 5.3×1.7 | 蘆川斎蔵 7.5×1.4 |
| 印の種類 | B | B | B | B | B |
| |  |  |  |  |  |
| 受入番号 | 2196-9-155-5 | 2196-9-155-6 | 2196-9-155-8 | 2196-9-155-10 | 2196-9-155-11 |
| 署名 寸法 | 蘆川斎蔵 4.8×1.3 | 蘆川斎蔵 10.0×1.8 | 蘆川斎蔵 9.1×1.9 | 蘆川斎蔵 4.5×1.2 | 蘆川斎蔵 5.6×1.1 |
| 印の種類 | B | B | B | B | B |
| |  |  |  |  |  |
| 受入番号 | 2196-9-155-12 | 2196-9-155-13 | 2196-9-155-16 | 2196-9-155-18 | 2196-9-155-19 |
| 署名 寸法 | 蘆川斎製 9.5×1.8 | 蘆川斎製 7.8×1.3 | 蘆川斎蔵 7.8×1.7 | 平尾堅一郎亮致製之 8.9×1.3 | 蘆川斎蔵 9.0×2.6 |
| 印の種類 | B | B | B | B | B |

| | | | | | |
|----------|--|--|--|---|---|
| |  |  |  |  |  |
| 受入番号 | 2196-9-155-20 | 2196-9-164 | 2196-9-165 | 2196-9-166 | 2196-9-167 |
| 署名 寸法 | 蘆川斎藏 6.2×1.1 | 堅一蘆川藏 4.8×1.3 | 平魯仙亮致藏 5.1×1.2 | 平尾蘆川藏 4.7×1.2 | 平尾堅一郎亮致文庫 7.2×0.7 |
| 印の種類 | B | B R | B R | B R 亮致之印 魯仙 | B R 亮致之印 |
| |  |  |  |  | <p>*署名以外の情報がある場合は、縮小画像であらわした</p> <p>*署名の寸法は署名部分の縦×横の各最長部分をcmであらわした</p> <p><表2>の印は署名の下、あるいは横に押してあるもののみ示した。他に作品内にある押印については<表1>を参照</p> <p>*印の種類は<表3>のアルファベットの記号と対応してある</p> |
| 受入番号 | 2196-9-168 | 2196-9-169 | 2196-9-170 | 2196-9-171 | |
| 署名 寸法 | 平尾魯仙文庫 5.9×1.2 | 平尾蘆川藏 5.5×1.6 | 平尾蘆川藏 4.7×1.4 | 蘆川藏 3.6×1.3 | |
| 印の種類 | B R | B R | B R | T S | |

〈資料3〉

| | | | | | | | |
|---|-------------------------------------|---|--------------------------------------|--|---|---|---------|
| <p>〈凡例〉 落款の画像</p> <p>*魯仙使用と断定できる印は太い線で囲み他と区別した。</p> | |  | |  | |  | |
| 印の種類 | 寸法 縦×横 単位cm | 白文 | 2.0×2.0 | 白文 | 2.3×2.4 | 朱文 | 2.4×2.6 |
| 印の記号 | 印の読み ※文字を判読出来ない場合は空白 あるいは部分の場合は●で示す | A | | B | 亮致之印 | C | 齋藤常吉 |
| 受入番号 *受入番号の最初の2196は省略 *数字の頭にある「★」の記号は、押印が裏面にある場合を示す | | ★2-757 2-760 ★2-762 ★2-763 ★2-764 ★2-767 ★2-768 | ★2-861 ★2-866 ★2-918 ★2-922 | 2-705 2-769 2-901 9-164-138 9-165-107 9-166-101 9-167-121 | 9-168-101 9-169-122 9-170-77 9-171-1 9-171-101 9-171-105 | ★2-775 ★2-862 | |
|  | |  | |  | |  | |
| 朱文 | 2.3×1.4 | 朱文 | 3.8×3.8 | 白文 | 径1.3 | 朱文 | 1.9×1.0 |
| D | | E | 齋藤●● | F | | G | 齋藤 |
| ★2-800 ★2-824 ★2-850 | | 2-808 | | 2-833 2-893 | | ★2-834 ★2-837 ★2-839 | |
|  | |  | |  | |  | |
| 白文 | 1.4×1.0 | 朱文 | 2.9×1.7 | 白文 | 1.3×1.3 | 朱文 | 3.3×1.8 |
| H | | I | | J | 喜楽 | K | |
| ★2-855 | | ★2-857 | | 2196-2-870 | | ★2-911 ★2-914 | |

| | | | | | | | |
|--|--|---|--|---|--|-------------|--|
| | | | | | | | |
| 白文2.3×2.5 朱文2.0×2.6 | | 白文 2.5×2.5 | | 朱文 1.2×1.9 | | 白文 各0.9×0.9 | |
| L | | M | | N | | O 魯仙 | |
| 2-924 | | 2-866 | | 2-865 | | 2-607 | |
| ※明らかに魯仙の作品ではないので<表1>には掲載していない | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 朱文 4.1×1.0 | | 白文 2.3×1.1 | | 朱文 2.3×1.1 | | 白文 3.6×2.3 | |
| P 芦川齊●書 | | Q | | R 魯仙 | | S | |
| 9-164-1 9-166-101 9-170-1 9-164-49 9-167-1 9-170-77 9-164-50 9-167-121 9-171-1 9-164-137 9-168-1 9-165-2 9-168-101 9-165-107 9-169-1 9-166-1 9-169-122 | | 9-164-50 9-170-1 9-164-79 9-165-2 9-166-1 9-167-1 9-168-1 9-169-1 | | 9-164-138 9-165-107 9-167-121 9-168-101 9-169-122 9-170-77 | | 9-171-137 | |
| | | | | | | | |
| 朱文 3.6×2.3 | | 朱文 1.2×1.1 | | 朱文 1.9×1.0 | | 白文 3.4×1.5 | |
| T 文庫●● | | U 平尾 | | V 芦川 | | W | |
| 9-171-137 | | 2-782 9-154-8 9-154-10 9-171-49 | | 9-154-8 9-154-10 | | 2-705 | |